



経験が人を育てる

校長 三浦利信

アメリカの発明家、Thomas Alva Edison（トーマス・エジソン）の名言に、「私は失敗したことがない。ただ、うまくいかない方法を10,000通り見つけただけだ。」という言葉があります。エジソンは、その生涯においておよそ1,300もの発明を行い、数多くの特許を取得した発明王として世界的に知られています。

エジソンのような科学者は、求めている結果に辿り着くために幾度となく研究を繰り返します。失敗はその過程で起きるひとつの出来事であり、その失敗から次のステップが見えてくることもあるので、彼らにとっては必要不可欠でありがたいものなのだそうです。失敗がありがたいとは、一見負け惜しみにも聞こえる言葉ですが、エジソンの数多の発明の裏にはそれ以上の失敗があったということが分かります。

1年生のスキー教室のスローガンにも「トライアンドエラー（Trial and Error）」がありました。大人になると失敗に怯えてしまう傾向が強くなります。そのために、新しいことになかなかチャレンジできない、なんてことも少なくないと思います。しかし、エジソンに言わせれば「失敗なくして成功はない」のです。失敗があるからこそ、自分の目標としているゴールに近づくことができる。そう考えると気持ちが楽になります。



日本の登山家で、第1次南極観測隊の副隊長兼越冬隊長や日本山岳協会会長を務めた、西堀栄三郎も、「人材を育てる方法はただ一つ。仕事をさせ、成功させることである。成功経験が人を育て、さらに大きな仕事をさせる。」と述べています。中学生時代は、学校や地域社会で多くの体験（経験）をして、大きく成長する時期です。一人一人が、経験をとおして学んだことを、今年度の残り1ヶ月に活かして欲しいと思います。3年生は卒業式に向けて、後輩たちにかっこよく、大きく、自信に満ちた立派な姿を見せて欲しいと思います。1・2年生は、それぞれ進級し、次の学年になるための大切な準備期間になります。1年間をしっかりと振り返り、良かった点や反省点を、自分を向上させるためのステップとして欲しいと思います。

P T Aについて

一般社団法人全国P T A連絡協議会のホームページに、これからのP T Aのありかたとして、「できる人が、できるときに、できることを、集まった人数で」が引き続き大原則となると書かれています。

羽村一中のP T Aも、令和7年度より「できるときに・できる人が・無理のない範囲で」を基本方針に、P T A会費は集めずに、活動内容を縮小し、「ボランティア制」で、可能な限り、柔軟な体制で活動を進め、協力し合う体制に変更しています。

2月2日にまなびポケットで配信いたしましたP T A会則とボランティア募集のお知らせをご覧いただき、詳細をご確認いただけますようよろしくお願いいたします。

一中あるばむ

学習や行事、部活動等に一生懸命に取り組む一中生の素敵な様子を紹介します。

～ スキー移動教室 1月21日（水）～1月22日（木） ～

山梨県のふじてんスノーリゾートで2日間スキー教室を実施しました。「日本列島に大寒波襲来」とニュースで流れた通り、スキー場はとても寒かったです。そんな中でしたが、生徒たちは元気いっぱいにも何度も転倒しながら頑張りました。インストラクターの話もしっかり聞き、上達して帰ってくることができました。宿舎では、集団行動を意識しながら行動することもできました。大きなけがや事故もなく、一生懸命に取り組んだスキー教室でした。



開校式は曇っていましたが、その後の天気は晴れでした☀

ご飯を7杯以上もおかわりした育ち盛りの生徒もいたようです。

～ 西多摩美術展 1月23日（金）～1月25日（日） ～

たくさんの力作が所せましと並び、見ごたえのある美術展でした。本校の生徒だけでなく、西多摩地区の作品を観ることもでき、会場はたくさんのご家族連れでにぎわっていました。



～ 学校公開 1月17日（土）～



当日は1～4校時まで授業があり、新入生保護者説明会と食育の日にもなっていたこともあり、300人を超える保護者・ご家族の皆様にご来校いただきました。4時間目が終わると生徒たちは、朝早く起きてお弁当を作ったことやご家族と一緒に作ったエピソードを話しながら、楽しそうにお弁当を食べていました。食のありがたみを感じた時間になったようです。ご協力ありがとうございました。

2月2日から3年3組担任の立石怜菜教諭が産休に入りました。滝友弘主幹教諭が3年3組の担任となり、授業は本校国語科と時間講師で担当いたします。